（記載例）
高校生以上を養育している方

（表面）

児童手当　認定請求書

東海村長　殿

提出年月日	※受付確認年月日
令和　6・　8・　1	令和　・　・

※認定・却下年月日	※支給開始年月
令和　・　・	令和　年　月 （令和　年　月分）

請求者	①（ふりがな）	いもばたけ　ほうさく	②性別	男・女	③生年月日	昭和・平成　●●・●●・●●
	氏名（法人名等）	芋畑　豊作	④職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	⑤配偶者	有・無
	⑥住所（法人の主たる事務所の所在地）	〒319－1192 東海村東海三丁目7番1号 電話　090(●●●●)●●●●	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください）		
	⑦個人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑧請求者の加入している公的年金制度の種別	ア．厚生年金保険　イ．国民年金　ウ．その他（　　） ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 （　）私立学校教職員共済 （　）国家公務員共済　（　）地方公務員等共済	⑨所得の状況	令和　年分所得額 （請求者）　円 （配偶者）　円

配偶者等	⑩（ふりがな）	いもばたけ　さとみ	⑫生年月日	昭和・平成　●●・●●・●●	⑭請求者の控除対象配偶者または同一生計配偶者の場合に○印	控除対象配偶者・同一生計配偶者
	氏名	芋畑　里味	⑬職業	ア．被用者 イ．公務員 （勤務先：　　） ウ．被用者等でない者	⑮個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	⑪住所（⑥と異なる場合）	〒　－	1月1日時点の住所（1～5月分は前年、6～12月分は本年）	（左欄と異なる場合に記入してください）		

⑯児童の兄姉等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）

氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	※算定対象の場合に○印
芋畑　香	子	平成　15・4・2	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	
		平成　・　・	有・無	有・無	同・別	令和　年　月	

添付書類

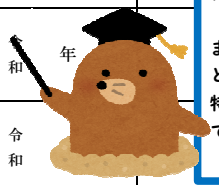
★全員に提出いただく書類
・請求者の保険証のコピー
・通帳またはキャッシュカードのコピー
★該当する方に提出いただく書類
・⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。
（⑯児童の兄姉等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。）

⑰　児　童

氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	額
芋畑　富蔵	子	平成令和　19・5・2	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月	円
芋畑　二郎	子	平成令和　20・6・2	有・無	同一・維持	同・別	令和　年　月	円
		平成令和　・　・	有・無	同一・維持	同・別	令和　年	円
		平成令和　・　・	有・無	同一・維持	同・別	令和	円

この世帯は高校生２人と２２歳以下のお子さん１人（計３人）を養育している世帯です。父の方が母よりも所得が高いので，父が請求者となります。２２歳以下のお子さんを監護していると判断するには本請求書とは別に「監護相当・生計費の負担についての確認書」を出していただく必要があります。そちらをだしていただくことで，第３子の手当額を「３万円」として認定することができます。

特に養育している２２歳以下お子さんがいない場合は⑯欄への記載及び「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出は不要となります。また，養育している２２歳以下のお子さんがいたとしても，そのお子さんと⑰に記載する児童（高校生）の数の合計が２人以下の場合は，支給額に特に影響がないため，⑯欄への記載及び「監護相当・生計費の負担についての確認書」の提出は不要となります。



⑱支払希望金融機関	名称	預金種別	支店コード	支店名	口座番号	口座名義	※合計月額
	おいも　銀行・金庫・信組・農協・漁協	普通・当座	0 0 0	はたけ支店	0 0 0 0 0 0 0	イモバタケ　ホウサク	円

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。　※印の欄は、記入しないでください。字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。